

# イクジィ 育G 応援プロジェクト その27

地域で広げよう! 孫育ての和

核家族化や女性の社会進出、地域社会の希薄化などにより、孤立してしまう「子育て」。  
そうした中、今、期待されているのがじいじ・ばあばが持つ「祖父母力」です。  
このコーナーでは「孫育て」という視点から、皆さんに役立つ情報をお届けします。

※「育G」とは、育児に積極的な「Grandfather」「Grandmother」の略称です

## 育Gへ孫育て アドバイス

## 孫育てのモヤモヤ お祝い・プレゼント

お誕生日、クリスマス、お年玉など、お孫さんへのプレゼントは、どのようにしていますか。物よりもお金が欲しいというパパママの声も聞こえてくるので、難しいですね。

孫育て講座の参加者に聞いたところ、①パパママに欲しいものを聞く ②予算を伝えて、パパママに欲しいものを聞く ③自分たちがあげたいものを贈る ④孫に直接聞く ⑤毎年決まった物(図書券、靴など)を贈る ⑥贈らないなどがありました。

プレゼントは、意外性も楽しみのひとつですが、お孫さんが小学校入学前までは、パパママが気に入ったものが多く使われ、嫌いな物はあまり使わない傾向があるので、パパママの意向は聞いてみるというでしょう。  
小学生くらいになると、自分の欲しいものを祖父母に伝えるお孫さんも。その場合は、何を贈るのかを、パパママに伝えることを忘れないように。



イラスト:Hina

アドバイザー

ぼうだ あきこ

NPO法人孫育て・ニッポン理事長

自身の出産後、子どもや家庭の状況にあわせて、育児雑誌や新聞等への執筆、育児サイトの立ち上げ・運営、企画会社などで活躍。2011年NPO法人孫育て・ニッポンを設立。全国各地で「孫育て講座」や行政との共同プロジェクトを行う。また、産後ケア、多世代交流を中心としたまちづくりなどの調査、研究に携わる。孫一人。

## 地元の育G リレーコラム

## 「釣り」で結ばれた大家族



### 今月の育G

片山 勝彦さん(68歳)

職業: 自営業

住所: 市内本町1丁目

孫: 男の子(13歳、8歳、7歳、5歳、3歳)、女の子(11歳、8歳)

13年前に初孫が生まれたのですが、できるだけ孫と一緒に出掛ける機会を作ろうと思い、小さいころから私自身の趣味である「釣り」に連れて行くようになりました。今は中学生になりましたが、生き物全般に興味を持っているようで「将来は獣医になりたい」と言っています。現在は7人の孫がいますが、娘夫婦をはじめ孫たち全員、釣りが大好きになりました。釣りをしている時はもちろんですが、事前準備から釣った魚を調理するまでが共通の話題になるので孫たちとのコミュニケーションはとても楽しいです。おじいちゃん、おばあちゃんになりたての皆さんもお孫さんと共通の趣味を持てるといいかもしれませんね。

### 自慢の孫フォト



明花里(あかり)ちゃん、真子(まこ)ちゃん、  
大貴(だいき)くん、元(はじめ)くん、  
翔馬(しょうま)くん、新太(あらた)くん、篤人(あつと)くん

## 藤枝市からの子育て情報



### 保育や教育の現場で働きませんか

保育や幼児教育の現場を支える保育士・幼稚園教諭のほか、放課後児童クラブの指導員を募集しています。本市が運営する人材バンク「enjobふじえだ」には、各施設の求人情報を掲載。ぜひ、人材バンクにご登録ください。

※採用の手続きなど、詳しくは、「enjobふじえだ」ホームページをご覧ください。

enjobふじえだ  
webページ



### 感想募集中



こちらのQRコードへ  
アクセスしご覧いただいた  
感想をお寄せください♪